

くすりのしおり®注射版の利活用に関するアンケート

野村香織、黒川寛之、海老原格、コミュニケーション部会情報委員会*、松田偉太郎
くすりの適正使用協議会

背景

くすりのしおり®は、2003年に医療専門家により考案され、くすりの適正使用協議会が維持管理している。作成基準に基づき製薬企業が作成しており、当協議会の責任において適正性および整合性の確認をしている¹⁾。そのため、「製薬企業が患者を意識して作成している」および「情報に信頼性がある」という点で評価されている²⁾。

現在、内服剤・外用剤・自己注射剤のくすりのしおり®に比べて、注射剤のくすりのしおり®の医療現場での活用の機会はまだまだ少ない。一方、製薬企業からは、医療機関で医薬品の採用を検討する際に、くすりのしおり®も用いられているという情報が寄せられている。

目的

注射剤のくすりのしおり®の病院内での利活用について、現状を把握する。

方法

実施期間：2009年5月15日～同年6月1日

対象：病院に勤務する薬剤師200名

方法：オンラインアンケート、連続的簡易サンプリング法

内容：くすりのしおり®の認知度、使い勝手、活用方法、改善の提案(表1)

協力

アイ・エム・エス・ジャパン株式会社(アンケート収集)
株式会社平和情報センター[現:富士通エフアイピーステムズ株式会社](テキスト分析)

表1 アンケート項目及び結果

問1 「くすりのしおり®」(内服剤・外用剤)をご存知ですか？(1つ選択) N=200 (人)	
知っている、ほぼ毎日利用する (6)	
知っている、たまに利用する (53)	
知っている、利用したことがある (55)	
名前だけ知っている (28)	
知らない (6)	
問2 「くすりのしおり®」に注射版があることをご存知ですか？(1つ選択) N=200 (人)	
知っている、ほぼ毎日利用する (0)	
知っている、たまに利用する (16)	
知っている、利用したことがある (27)	
名前だけ知っている (39)	
知らない (11.8)	
問3 院内業務における「くすりのしおり®」(注射剤)の利用頻度を教えてください。(1つ選択) N=43 (人)	
ほぼ毎日 (0)	
1週間に数回 (10)	
1か月に数回 (18)	
1年に数回 (15)	
問4 「くすりのしおり®」(注射剤)の入手方法を教えてください。(1つ選択) N=43 (人)	
くすりの適正使用協議会ホームページ (34)	
各メーカーのMR (7)	
その他 (2)	
問5 「くすりのしおり®」(注射剤)をどのような用途で活用されていますか？(複数選択可) N=43 (人)	
患者(家族)への説明のため (29)	
患者(家族)からの問い合わせに対応するため (18)	
薬剤管理(データベース作成)のため (14)	
患者である自分が利用するため (3)	
医薬品情報についての学習・研究資料として役立てるため (25)	
問6 患者さんに対して、「くすりのしおり®」(注射剤)をどのように活用されていますか？(複数選択可) N=32 (人)	
印刷したものに口頭で説明を加えて患者(家族)に提供している (18)	
印刷したものをそのまま患者(家族)に提供している (5)	
必要な部分を抜粋(印刷)して、患者(家族)に提供している (10)	
印刷したものは渡さず、患者(家族)に口頭で説明している (11)	
印刷したものは渡さず、患者(家族)にモニター画面に表示しながら説明している (1)	
問7 「くすりのしおり®」(注射剤)の下記項目について、その活用度合いを5段階評価で教えてください。(各1つ選択: a 全く使わない, b ほとんど使わない, c まれに使う, d 時々使う, e よく使う) N=43 (人)	
① この薬の作用と効果について (a 1, b 2, c 5, d 10, e 25)	
② 注射の前に確認すること (a 2, b 2, c 7, d 17, e 15)	
③ 副作用について (a 1, b 2, c 5, d 19, e 16)	
④ 注射のあとに注意していただくこと (a 1, b 3, c 8, d 17, e 14)	
⑤ その他 (a, b, c, d, e)	
問8 「くすりのしおり®」(注射剤)の下記項目について、その使いやすさを5段階評価で教えてください。(各1つ選択: a 使いづらい, b やや使いづらい, c ふつう, d やや使いやすい, e 大変使いやすい) N=43(人)	
① この薬の作用と効果について (a 0, b 1, c 9, d 16, e 17)	
② 注射の前に確認すること (a 0, b 2, c 18, d 15, e 8)	
③ 副作用について (a 0, b 6, c 11, d 16, e 10)	
④ 注射のあとに注意していただくこと (a 0, b 3, c 21, d 9, e 10)	
⑤ その他 (a 2, b 6, c 25, d 5, e 5)	
問9 注射剤の情報をどこから入手していますか？(複数選択可) N=200 (人)	
医薬品医療機器総合機構の医薬品医療機器情報提供ホームページ (127)	
各メーカーのホームページ (156)	
各メーカーのMR (129)	
JAPIC(書籍、IyakuSearchなど) (54)	
その他 (30)	
問10 「くすりのしおり®」(注射剤)は必要ですか？それとも不要ですか。(1つ選択)併せてその理由もお聞かせください。(自由記載) N=200 (人)	
必要 (171)	
不要 (29)	
問11 「くすりのしおり®」(注射剤)をより活用しやすくする提案などありましたらご記入ください(自由記載)	

回答者年齢層：20歳代 26人、30歳代 77人、40歳代 51人、50歳代 45人、60歳以上1人

結果

アイ・エム・エス・ジャパン株式会社アンケート調査に登録されているパネル薬剤師(病院勤務)6748名のうち、任意の回答者200名(男性120名、女性80名)から回答を得た。

57%(114人)がくすりのしおり®を日常業務で利用し、そのうち38%(43人、全体の22%)が注射剤も利用していた。全体の85.5%(171人)、注射剤の利用者の93%(40人)が注射剤のくすりのしおり®は必要であるとの認識であった。要望としては、薬剤数の増加、詳細な情報があった。他の情報入手先としては製薬企業各社のサイト(78%)やMR(64.5%)、PMDA(63.5%)が挙げられていた。

利用する主な理由

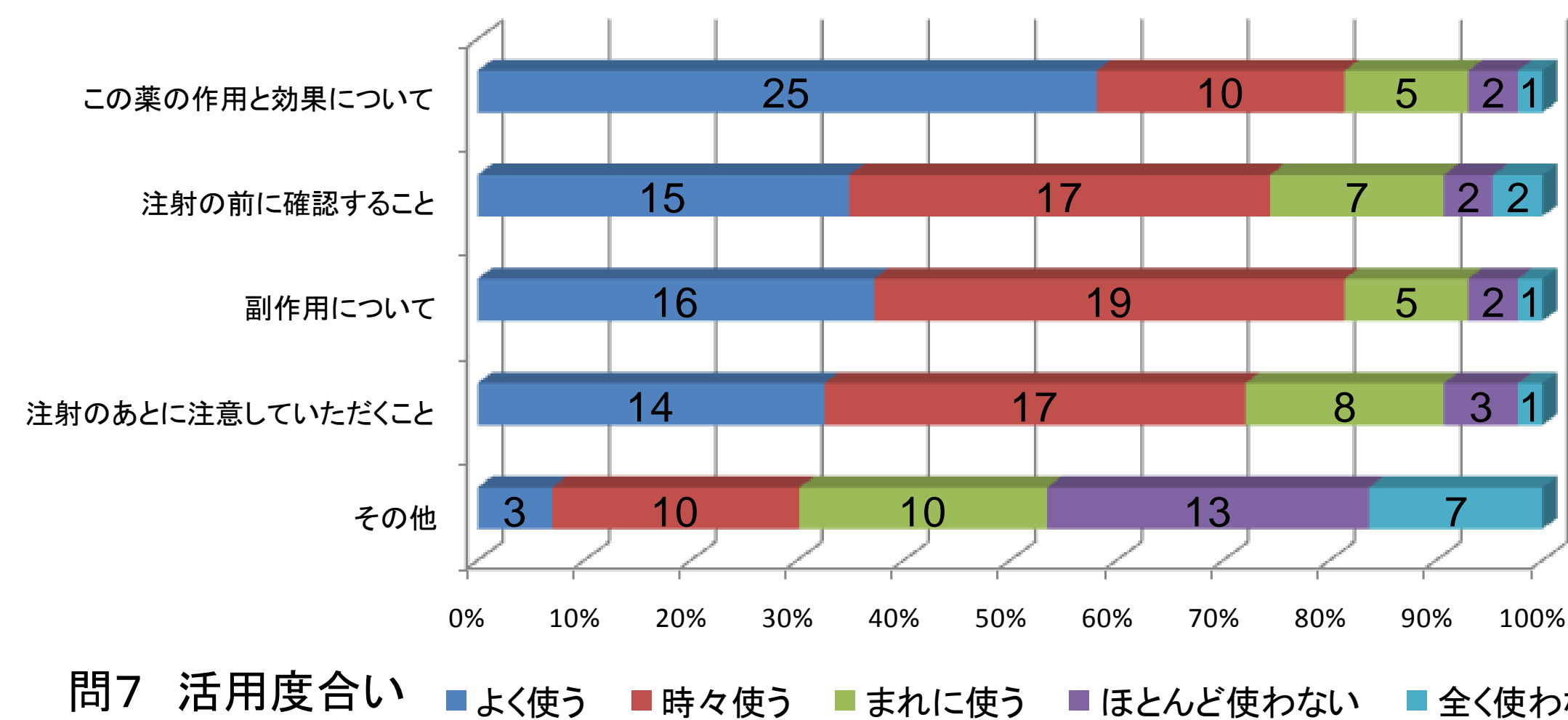
在宅での投与や入院時の説明に有用
患者への説明の仕方などは、素人にわかりやすい口調でかかれていますので、そのまま使用できる

利用しない主な理由

実務で注射剤について説明する機会がない
全種類は不要
製薬企業等の他の資料で情報が間に合っている

利用している情報

1. 作用と効果、2. 副作用、3. 注射前/後の確認



考察

注射版のくすりのしおり®の利用は、22%とまだ少ない。これは、薬価収載されている内服・外用の個別医薬品8000品目以上に対応しているのと比べて、注射版のくすりのしおり®が1000品目程度と少ないことも一因と考えられる。患者視点でコンコーダンスの実践をサポートするべく、注射剤のくすりのしおり®の網羅性を高めることも必要と考える。

くすりのしおり®のコンセプトは「医療関係者と患者さんとのコミュニケーションツール」であり、ウェブサイトでの閲覧は約半数が一般の方である²⁾。アンケートからはコンセプトどおりにコミュニケーションツールとして利用されてくすりのしおり®を評価している意見と、参考資料としてより専門的な内容(レジメン、配合禁忌など)を求める意見があった。

なお、本調査はウェブアンケートだったため、ウェブ環境の無い病院の薬剤師の意見が集約できていない可能性がある。網羅性を高めるとともに、くすりのしおり®利用者(医療関係者及び患者)へのインタビュー実施などにより多角的に情報収集し、さらに利便性を高めるための検討を行う必要がある。

参考

いままでも注射剤と内服剤・外用剤・自己注射剤のくすりのしおり®様式が異なっていた。本アンケートの結果をふまえて、注射剤のくすりのしおり®を充実させるため、平成23年6月末に様式の統一を図り、作成の解説を充実させるなど、くすりのしおり®作成基準改訂をおこなった。

文献

- くすりの適正使用協議会(2011)くすりのしおり®作成基準
- くすりの適正使用協議会(2008)「対話のある医療」を目指して一新版「くすりのしおり®」が医療担当者と患者に十分に活用されるための調査報告一. 第41回日薬学術大会P35-15.

*くすりの適正使用協議会コミュニケーション部会情報委員会
栗原理、七野芳彦、橋本律子、程島直子、三橋能弘